NIIGATA
市報にいがた
令和8年11月1日｜第1・3週 日曜発行｜
※掲載情報は10月22日時点のものです
2026
11/1
No.2874

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





ともに働き、ともに暮らす



障がいのある人もない人も、自分らしく働き、安心して暮らせる社会を目指して、さまざまな就労支援の取り組みが進められています。

今号は、障がいがある人の働く現状や、職場の様子、相談先を紹介します。

問障がい福祉課(☎025-226-1249)

1～2 特集 ともに働き、ともに暮らす
3
- 11/28(土)アリーナと新潟の未来を考えるシンポジウム
- 11/9(月)は「119番の日」
- 11/12(木)～25(水)女性に対する暴力をなくす運動
- 水道管の凍結防止対策
- 11月は「子どもの権利月間」など

4～5
- 市長とすまいるトーク・市長と高校生との意見交換会を開催

他3ページは区役所だより
「情報ひろば」は別冊で発行しています

増えている障がいがある人の働く場

近年、国の施策や働き方の多様化を背景に、障がいのある人の就業が増えています。働き方は、大きく分けると2種類あり、一般企業などで働く「一般就労」と、障がい福祉サービス事業所などで支援を受けながら働く「福祉的就労」があります。本人の希望や特性によって、求める働き方は異なります。

支援機関などに相談し、自分に合う働き方を見つけることで、本来の能力や強みを発揮できるようになります。また企業としても、お互いを知り、違いを認め合うことで、働きやすい職場風土になることが期待できます。

詳しい人に聞きました



市障がい者
就業支援センター
こあサポート　管理者
栗原 知恵美さん

ともに働くために

障がいがあっても、環境を整えたり、仕事の進め方を工夫したりすることで、力を発揮できる人は多くいます。同僚の人柄を知るように障がいの特性も知ることで、自然と距離が縮まり誰もが働きやすい職場へとつながります。お互いを理解し、工夫することが、ともに働く第一歩です。

●一般就労

企業などと雇用契約を結び、定められた労働条件のもとで働く就労形態

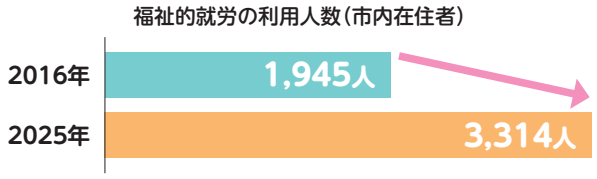
市内民間企業の障がい者雇用率

2016年 1.84% → 2025年 2.31%

●福祉的就労

一人一人に合った支援を受けながら働く就労形態
事業所で働きながら賃金・工賃を得る「就労継続支援」や、一般就労に必要な知識やスキルを身につけるための訓練を行う「就労移行支援」などがある

福祉的就労の利用人数(市内在住者)



にいがた ニキロ 新潟都心のまちづくり
SDGs 未来都市 新潟市
国際湿地都市 NIIGATA
市の各種手続き、催し案内などは
土・日曜、祝日も新潟市役所コールセンター
年中無休 8:00～21:00
こたえてコール 025-243-4894
FAX 025-244-4894　Eメール 4894call@call.city.niigata.jp

編集・発行／新潟市広報課
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602-1
☎025-226-2089

新潟市の人口・世帯数
（9月末住民基本台帳人口。かっこ内は前月との比較）
人　口／749,903人(-357)
男 360,707人(-177)　女 389,196人(-180)
世帯数／354,569(+66)